

令和4年度東北農業試験研究推進会議生産環境推進部会
病害虫研究会（夏期）開催要領

東北農業試験研究推進会議 生産環境推進部会長
農研機構東北農業研究センター
緩傾斜畑作研究領域長 関矢博幸

1. 趣 旨

東北地域では、これまで農業生産における新規センシング手法や地域資源の活用を導入する研究を実施してきた。しかし「みどりの食料システム戦略」の最終目標となる化学農薬の使用量50%低減や化学肥料の使用量30%低減を2050年までに達成するためには、試験研究の一層の加速が必要である。そこで、「みどりの食料システム戦略」の目標達成に向け、病害虫防除等に関する取り組みについて情報交換を行うとともに、東北地域における今後の展開方向について検討を行い、関連試験研究の推進及び連携協力を図る。

2. 開催日時 令和4年8月24日（水）13:30 ～ 17:00

3. 開催場所 オンライン開催

4. 検討内容

検討課題：「みどりの食料システム戦略」に関わる研究や取り組み

- 1) ドローンとAIを用いた水稻病害の被害度評価
山形大学農学部 准教授 小林 隆
- 2) 山形県における有機農業の推進に向けた取り組み
山形県農林水産部農業技術環境課 課長補佐 森岡 幹夫
- 3) 農研機構における「みどりの食料システム戦略」に関連する取り組み
農研機構東北農業研究センター グループ長補佐 下田武志
上級研究員 上杉龍士

総合討論

5. 参集範囲

東北各県の公設試験研究機関・行政機関・普及指導機関、東北農政局、大学、農研機構等国立研究開発法人、「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム会員、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先

事務局：農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域 下田 武志、今崎 伊織
〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平4 TEL&FAX：019-643-3466（直通）
E-Mail：oligota@affrc.go.jp（下田）、iiori@affrc.go.jp（今崎）

7. その他

オンライン接続方法や参加申込方法などについては、事務局より別途連絡します。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、以下の対応をお願いします。

- ・リモートの拠点となる会議室等に複数人数が参集する場合、各機関の担当者は会場が三密の状況にならないよう留意するとともに、参加者には検温、手指消毒の励行および発言の有無に関わらずマスクの着用を指示ください。
- ・万一、会議参加者に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に出席者名簿を提示する可能性があります。